

## 10) 石わ会

代表：川部忠夫

### 1. グループの今後の活動方向と課題

- 1) 平成28年11月にグループが発足し、丸2年がたちます。その間には、①長田すみれ苑②長田ケアホーム③神港園白川④須磨きらくえん⑤ふたば老人ホームと訪問し囲碁のお相手をさせて頂きました。しかし、現在は神港園白川とふたば老人ホームの2か所です。各区の社会福祉協議会と連携し、新たな活動場所を開拓する。
- 2) 会員は20期が主体で、15期が一人と19期が一人ですが21期や22期の会員を増やしたい。
- 3) 代表をそろそろ交代したいと考えています。

### 2. 最近頑張っていること。(今年は頑張りたい)

- 1) 練習場所としての石遊会・石秀会の例会には、出来るだけ参加するように心掛けているが、スケジュールが合わず参加出来ていない。今年からは、全て参加できるようにスケジュールを考えていきたい。



## 11) KSC茶道部同好会

代表：清水裕太郎

茶道部同好会は発足して1年余りの若いグループです。この1年はグループがスムーズに活動できる体制づくりを考え、会員の勧誘とボランティア先の確保に努めました。

その結果、会員は25名となり、老人介護施設での抹茶接待、保育園での茶道指導、春・秋のしあわせの村・日本庭園での茶席開催、北区古民家で開かれる月見会での抹茶接待などの活動を行うことができました。

断っているボランティアの依頼もありますので、会員、特に男性会員を増やすことが必要だと思っています。

まだ経験の浅いグループであり、無理をせず身の丈に合った範囲で、会員が楽しく活動できるグループを目指したいと思っています。

入会を希望される方をお待ちしています！



(本特集の編集：八木)

## 秋の学習支援者の集いを開催

学習支援委員会委員長 岡本紘一

発達障がいの特徴とその対処の仕方を学ぶための「学習支援者の集い」を12月14日にカレッジ学習室で開催し、学習支援者、カレッジ現役生など約23名が参加しました。

竹田契一先生の「発達障がいの幼児児童生徒はどこでまずくか」宝塚武庫川ロータリークラブでの講演会の動画



の内8つの寸劇を見て討議しながら学習しました。

竹田契一先生は、大阪教育大学名誉教授 大阪医科大学LDセンター顧問で、

発達障がいの第一人者です。

この寸劇の動画は、アスペルガー症候群、ADHDなどの様々な発達障がいの特徴とその対処の仕方を若い先生方が熟演した後に、竹田契一先生が解説されていて、判りやすく理解しやすいものでした。2つの寸劇の動画を見た後に、参加者に同じような内容の体験談をしてもらい、それを繰り返すことにより、理解の度合いが深まるようにしました。

またこの日が学習支援日であることなどで参加できなかった支援登録者が多くいました。そこで、この動画を自宅のパソコンで見る方法を学習支援者へ再度連絡しました。

この動画を多くの人が見て、学習支援者が増えていくことを期待しています。



(写真；才上眞行 文；岡本紘一)

### 講演動画の見方

YouTube検索⇒「竹田契一先生LDセミナー」

or「宝塚武庫川ロータリークラブ」

\*）講演9本、寸劇8本の動画に分割されています。